



あぐりあす

第288号



～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1 久慈地域の情報

- 所長挨拶 . . . 1
 - ・当センター所長より新年度の挨拶を致します。
- 令和8年度久慈普及センター活動体制 . . . 2
 - ・今年度の当センターの活動体制を紹介します。
- 令和8年度転入者・令和7年12月採用者(4名)の自己紹介 . . . 3
 - ・今年度及び令和7年12月から当センターに赴任した4名を紹介します。

2 お知らせ

- 春の農作業安全月間 . . . 4
 - ・「これくらい…」少しの油断が自己のもと 初心忘れず安全作業
農業者の方はもちろん、家族や地域ぐるみで農作業安全に取り組みましょう。
- いわてアグリベンチャーネット メールサービス会員募集中！ . . . 5
 - ・岩手県の農作物技術情報や農村地域などの情報を幅広く提供する
メールサービスを行っています。ぜひご活用ください。
- ツキ/ワグマ対策 . . . 8
 - ・春になり、クマの出没が増えてきています。
各自、対策を心掛けましょう！
- 岩手県全域版クマ出没情報アプリ「Bears」運用開始！ . . . 11
 - ・リアルタイムでクマの出没情報を共有できるアプリがリリースされました！
- 令和8年度 久慈地方就農相談会のお知らせ . . . 別添
 - ・毎月第2水曜日に実施します。近所やお知り合いの方で
就農を考えている人がいましたら、ご紹介をお願いします。

新年度を迎えて

昨年度よりお世話になっております、久慈農業改良普及センターの有馬と申します。引き続き、よろしく願いいたします。

令和7年度は、当管内におきましても、記録的な少雨や令和5年度から続く猛暑など、厳しい条件下での農業生産となりました。また、飼料・肥料などの各種資材の価格は依然として高止まりし、燃油価格は一層の上昇が懸念されています。

このように、気象状況や農業生産現場を取り巻く環境は、大きく変化しておりますが、当センターといたしましても引き続き、生産の安定、品質の向上、低コスト・省力化につながる技術の導入などを柱に、地域農業の発展、農村地域の活性化に努めてまいります。

令和8年度の当センターの体制は、昨年と同様に、経営指導課、産地育成課、地域指導課の3課、17人体制になります。

今年の人事異動で3名が転出し、昆野善孝経営指導課長、戸田諒農業普及員、新採用の中野碧衣技師が着任いたしました。ベテランは、それぞれが持つ技術や経験を上手く活かしながら、若手は農業者の皆さんの知恵や経験を学びつつ、普及活動の更なる強化を図ってまいります。

令和8年度の普及指導の取組として、当センターでは、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン（令和5年度～8年度）に連動した普及指導計画を策定し、現地の課題解決などに取り組み、今年度で4年目になります。

令和8年度も引き続き、“地域農業を担う経営体の育成”、“新規就農者の確保・育成”、“ほうれんそうを核としてピーマン・ブロッコリー等を組み入れた園芸産地の育成”、“産地力向上に向けた酪農及び和牛経営体の育成”、“「白銀のひかり」を含めた水稻の収益性向上”“地域資源を生かした農畜産物（短角牛・ヤマブドウなど）の振興”、“産地直売所の体制強化”、“鳥獣被害防止対策の強化”、“農業農村指導士や食の匠等の活動支援”など、地域農業者の皆様の所得向上・生産力向上などにつながるよう、地域に寄り添った普及活動に取り組んでまいります。

最後になりますが、当センターの職員は若手が多く、新技術などの情報を皆様へお伝えする一方で、皆様の様々な経験に裏付けられた技術などをご指導いただきながら、普及指導員としての自信を身に付けていくものと考えております。

令和8年度もご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



久慈農業改良普及センター活動体制



所長 有馬 宏

経営指導課

- ・大規模経営体等の経営発展に向けた個別経営改善支援
- ・酪農及び肉用牛の生産性向上支援

★経営指導課長 (新) 昆野 善孝

- ・ 上席農業普及員 齋藤 浩和 (課総括、酪農経営体育成)
- ・ 主任農業普及員 篠崎 創 (肉用牛経営体育成)
- ・ 技師 田淵 麻紘 (園芸経営体育成、鳥獣対策)
- ・ 技師 (新) 阮 魯瀟 (水田作経営体育成、菌床しいたけ経営体育成)

産地育成課

- ・産地の担い手や組織の育成支援
- ・生産性向上技術の確立及び普及
- ・高位安定生産技術導入による単収向上支援

★技術主幹 和野 重美

兼産地育成課長

- ・ 上席農業普及員 深澤 明子 (課総括、ほうれんそう、園芸生産者育成)
- ・ 主任農業普及員 佐々木 達史 (新規園芸品目、菌床しいたけ、GAP)
- ・ 主任農業普及員 (新) 戸田 諒 (果樹、花き、土壌診断、農業適正使用)
- ・ 技師 戸田 奈菜子 (水稻、畑作物)

地域指導課

- ・管内市町村との連携
- ・新規就農者の確保及び育成
- ・産地直売所の取組支援
- ・生活研究グループや食の匠の活動支援

★地域指導課長 及川 耳呂

- ・ 上席農業普及員 加藤 清吾 (課総括、久慈市、新規就農)
- ・ 主査農業普及員 東海林 豊 (普代村、地域計画)
- ・ 主査農業普及員 山本 明日香 (洋野町、農業農村指導士、食文化)
- ・ 技師 宮澤 薫子 (野田村、産直、女性農業者)
- ・ 技師 (新) 中野 碧衣 (認定農業者、6次産業化)

事務補助

- ・ 会計年度任用職員 岸里 恵

※「(新)」は令和8年度転入者・令和7年12月採用者
 ※氏名横のカッコ内は主な担当(作目)業務



令和8年度転入者・令和7年度12月採用者（4名）の自己紹介

- ① 名前
- ② 出身地
- ③ 担当業務
- ④ 前任地
- ⑤ ひとこと
お願いします！



- ① 昆野 善孝（このん ぜんこう）
- ② 滝沢市（実家は北上市です）
- ③ 経営指導課長
- ④ 宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター
- ⑤ 30数年前の初任地が久慈普及所です。1年目は本所勤務で2～3年目は山形村駐在で勤務していました。当時の若手農業者は今や経営者となっており、いつか会えることを楽しみにしています。

- ① 戸田 諒（とだ りょう）
- ② 盛岡市（実家は紫波町です）
- ③ 果樹、花き、環境保全型農業
- ④ 宮古農業改良普及センター
- ⑤ 前任地では、水稻・大豆等の技術指導を担当しておりました。果樹・花きは勉強中です。これから地域のことを一つひとつ学び、現場に寄り添いながら、着実に知識と経験を積んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

- ① 阮 魯瀟（げん ろしょう）
- ② 中国（北京市）
- ③ 水田・菌床しいたけ経営体、情報発信
- ④ 新採用
- ⑤ 令和7年12月付で新採用となりました阮です。留学をきっかけに来日し、日本での生活も8年目になりました。前職ではシステム開発に携わっておりました。関東から久慈に赴任し、人の温かさを実感しております。早く生産者の皆様のお役に立てるよう、努めてまいります。よろしくお願いいたします。

- ① 中野 碧衣（なかの あおい）
- ② 盛岡市
- ③ 認定農業者、農村起業・6次産業化
- ④ 新採用
- ⑤ 新採用の中野です。至らない点も多いと思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。初めての社会人生活で慣れないこともありますが、日々笑顔で頑張っていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

人事異動に伴い、久慈農業改良普及センターから転出した職員及び転出先は下記のとおりです。

- ▶ 小原 貴子 宮古農業改良普及センター
- ▶ 吉田 昌史 奥州農業改良普及センター
- ▶ 戸田 沢 ひかる 八幡平農業改良普及センター

「これくらい…」 少しの油断が事故のもと



初心忘れず安全作業



トラクターに安全フレーム装着！
運転者はシートベルト着用！



水分、塩分補給など熱中症対策
を十分に！



強風・乾燥時は野焼きをしない！
作業は、準備と注意をしっかり！



家族に作業場所と帰宅時刻を知らせよう！
携帯電話を携帯しよう！

農業者の方も労災保険に特別加入できます。
万が一の事故の際に確実な補償を受けられるように検討しましょう。



春の農作業安全月間 4月15日(水)～6月15日(日)

秋の農作業安全月間 9月15日(火)～11月15日(日)



メールサービス 会員募集中！

(情報料無料)

「いわてアグリベンチャーネット」などの情報をお知らせするメールサービスです。

配信する情報

農業技術情報

病害虫の情報

研修会などの開催案内

気象警報・注意報

各地域の情報

県内9地域※ごとに配信します。
お好きな地域を選んで登録いただけます。

※盛岡、八幡平、中部(花北・遠野・西和賀)、奥州、一関、大船渡、宮古、久慈、二戸

登録方法

右の二次元コードから、次の事項を入力してください。



最初の画面にて、「利用者登録せずに申し込む方はこちら」を選択してください。

- ・氏名
- ・メールアドレス
- ・所属
- ・属性 (農業者、市町村など)
- ・登録する地域

- 盛岡
- 八幡平
- 中部
- 奥州
- 一関
- 大船渡
- 宮古
- 久慈
- 二戸

例) 奥州地域に登録した場合
「全県向けの情報」と「奥州地域向けの情報」が届きます。

例) 奥州地域と二戸地域に登録した場合
「全県向けの情報」と「奥州地域向けの情報」と「二戸地域向けの情報」が届きます。

詳しくはこちら



「いわてアグリベンチャーネット」のXはこちら



(問い合わせ先)
岩手県農林水産部
農業普及技術課農業革新支援担当
電話：019-629-5652
メール：AF0005@pref.iwate.jp

(様式2)

いわてアグリベンチャーネット メールサービスのお知らせ

「いわてアグリベンチャーネット」などの記事情報を、メールにてお知らせします。

配信する情報

区分	情報発信者	配信の種類*	配信する情報(例)
全県向けの情報	農業普及技術課	定期配信	農作物技術情報(定期)、行事の開催案内等
		緊急配信	農作物技術情報(号外)等
	病虫害防除所	定期配信	病虫害発生予察の定期情報・現況情報等
		緊急配信	病虫害発生予察の警報・注意報、発生速報等
	防災課	—	気象の警報・注意報等
		—	—
各地域向けの情報	各農業改良普及センター	定期配信	地域の情報、地域独自の農業技術情報、行事の開催案内等
		緊急配信	緊急的に提供が必要な情報等

*定期配信は月1～3回程度、他の配信はその都度行います。

各地域の情報

登録する地域を選択すると、その地域の情報が配信されます。

地域*	該当市町村
盛岡	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町
八幡平	八幡平市、葛巻町、岩手町
中部	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町
奥州	奥州市、金ヶ崎町
一関	一関市、平泉町
大船渡	大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町
宮古	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村
久慈	久慈市、洋野町、野田村、普代村
二戸	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町

	登録する地域	配信される情報
例1	奥州地域	「全県向けの情報」 +「奥州地域向けの情報」
例2	奥州地域と二戸地域	「全県向けの情報」 +「奥州地域向けの情報」 +「二戸地域向けの情報」
例3	全県	「全県向けの情報」

*複数地域の登録可能です。

新規登録の方法

次の事項を「岩手県電子申請・届出サービス（右の二次元バーコードまたはURL）」より入力してください。

（入力する事項）

- ・ 氏名
- ・ メールアドレス
- ・ 所属
- ・ 属性（農業者など）
- ・ 登録する地域

（二次元バーコード）



（URL）

https://apply.e-tumo.jp/pref-iwate-u/offer/offerList_detail?tempSeq=8180

（注意事項）

- ・ 最初の画面で「利用者登録せずに申し込む方はこちら」を選択してください。
- ・ 携帯電話のメール設定（迷惑メールフィルタリング機能等）にて「@m01.pref.iwate.jp」を受信可能にしてください。
- ・ 「lgwan メール」（～@～lg.jp）は登録できません。

登録変更、登録解除（配信停止）

メールアドレスの変更や、登録する地域の変更、登録を解除（配信を停止）する場合は、「岩手県電子申請・届出サービス（右の二次元バーコードまたはURL）」より入力してください。

（注意事項）

- ・ 最初の画面で「利用者登録せずに申し込む方はこちら」を選択してください。

（二次元バーコード）



（URL）

https://apply.e-tumo.jp/pref-iwate-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9218

※ 収集した個人情報は、本メールサービスの運用のみに利用します。

（問い合わせ先）岩手県農林水産部 農業普及技術課 農業革新支援担当
電話：019-629-5652 メール：AF0005@pref.iwate.jp

発行日 令和8年3月30日

発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード

「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

基 本 まもる・よせつけない・つかまえる 3つの基本対策を総合的に！
食べさせない クマの食べ物は排除し、しっかり保管、電気柵の設置準備をします
刈払いの実施を 刈払いを実施するスケジュールの決定を、また倉庫等も点検を
電気柵点検 パワーユニットの点検と支柱等資材の準備を確実に
人身被害防止 音を出して人間の存在を知らせましょう。万が一襲われそうになっ
 た場合には、「首を守ってダンゴムシ」です。

1 基本

県では、令和8年に入り、2月、3月と人身被害が発生しており、4月以降、出没が増える傾向にあるため、引き続きクマの出没に注意する必要があるため、クマによる被害の未然防止を図るため、3月24日県内全域に「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発表しました。

これからの時期は、クマが冬眠から目覚め、人里へ出没する可能性が高くなりますので、県民の皆様には、引き続き、クマを人里へ寄せ付けない対策を実施していただくとともに、出没情報なども確認しながら遭遇のリスクを避け、万が一遭遇した場合にはむやみに近寄らず、安全を最優先に行動いただくようお願いします。

ツキノワグマは常にエサを求めて活動しています。そのため、エサが確保できない、または、人間社会の近くで生活したほうが、高カロリーのエサが確保しやすいと判断した場合には、私たちの生活や農業生産の現場に出没することも考えられます。

野生獣による農作物被害対策の基本は、「個体群管理＝つかまえる」「侵入防止対策＝まもる」「生息環境管理＝よせつけない」の3つの基本的対策を、地域やほ場で総合的に継続実施することです。

捕獲・駆除だけでは、次の個体（群）がやってきて、再び被害を発生させます。捕獲することは基本対策として重要ですが（特に加害獣）それだけでは被害を無くすことはできません。3つの基本対策を総合的に実施することが最も重要です。

2 食べさせない対策を！

- ・前年に収穫した農作物はもちろん、前年に収穫しなかった果実、廃棄する家畜の飼料（サイレージ）、生ゴミ（コンポスト等を含みます）、家庭菜園等、身のまわりの思わぬものがツキノワグマを引き寄せるエサとなります。それらは、屋外に放置しないようにします。
- ・ツキノワグマを引き寄せないよう、コメや生ごみ（コンポストを含む）などは、小規模であれば密閉する等「匂いを出さない」対策を行いつつ、小屋や倉庫等の戸締りと施錠を確実に実施するなど「侵入されない対策」を実行します。
- ・農作物は植えると同時に、食べさせない対策を実施する必要があるため、当初から電気柵設置の準備を行います。
- ・畜舎は、家畜の（配合）飼料はそのままツキノワグマのエサになってしまうため、畜舎周りへの電気柵設置を検討します。舗装されている場合は、電気を通しづらく電気柵の効果が低下することから、舗装部外側への設置を検討します。

3 刈払いの実施と環境点検を！

- ・ほ場や集落、河川付近の茂みや耕作放棄地は、ツキノワグマをはじめとした野生獣の格好の潜み場、休憩場となります。
- ・「草を刈る」ことは、見通しを良くすることになり、ツキノワグマの姿を見せると同時に、休憩場所を無くすこととなります。
- ・また、草刈りは最大の防御策である「電気柵」の効果をおよぼすことにもつながり、効果的な対策です。
- ・今後の刈払いの実施場所や日程、実施者について、集落等において検討し決定しておきます。
- ・車庫や倉庫、物置、廃屋などは、人身被害防止に留意しながら点検し、住処や冬眠場所になっていないか、いなかったかを確認します。

4 効果的な電気柵運用のための計画を

電気柵は、ツキノワグマ等野生動物に、痛みを与えて防御できる唯一の方策です。

被害を受ける直前の設置や、被害を受けてからの設置では、十分な効果が期待できません。

このため、作物の播種・定植後、速やかに電気柵が設置できるよう、予め計画を立てておきます。

資材の準備のほか、ほ場に、電気柵の設置と点検のためのスペースを確保します。

また、既存のパワーユニット(電牧機)やバッテリーも点検し、正常に稼働するかを確認します。パワーユニットは、デジタルポルトメータを用いて直接電圧を測定し(パワーユニットのプラスに電圧計のプラスを、アース側にマイナスを接続することで測定できます)通常電圧で作動しているかを確認します(写真1)。

その他、ワイヤーや支柱は十分な数量があるのか、また、ワイヤーを正しい高さでピンと張るため、角や両端には、ある程度太い支柱が用意されているか、ピンと張るための小道具(=簡易緊張具)は用意されているか、を確認する等、しっかりと準備をします。

5 人身被害防止

クマの出没情報は常に確認しつつ、出没の可能性がある場合には、複数人で行動します。鈴やホイッスル等音の鳴るグッズを用いるほか、人間の声などで、クマに対して人間の存在をアピールします。撃退スプレーを携帯できる場合には、事前にロックを外す練習もしておきます。顔面や頭部の損傷程度を軽減させるためにもヘルメットの着用は有効です。

また、至近距離でクマと突発的に遭遇し、攻撃を受けそうになった場合は、首の後ろで両手を組んで、うつ伏せになったり体を丸めたりして顔を伏せる防御姿勢をとり、首から上の大ケガを防ぎます。

6 おわりに

ツキノワグマを含め野生獣の対策としては、3つの基本対策を同時に実施する総合対策の実行が重要



写真1 パワーユニットの点検(この事例では、無負荷で電圧は8.4KVであり、正常と判断した)



写真2 ピンと張られたポリワイヤーによる電気柵

です。また、ツキノワグマを対象とする場合の防御策としては「電気柵」しかないことから、電気柵の適正な運用を検討してください。

なお、設置済み電気柵の点検や、今後に向け、集落単位やほ場における電気柵の設置を計画している場合等、各農業改良普及センターでは支援を行っていますので、適宜ご相談ください。

山火事警戒宣言発令中！ [2月27日 ~ 5月31日]

山火事の多くが、ちょっとした火の取扱いの不注意から発生しています。

県民の皆様におかれましては、山火事の危険性を十分認識していただき、特に、強風時や乾燥時には火入れや野焼きなどの火の使用は絶対行わない、タバコの投げ捨ては絶対行わないなど、恐ろしい山火事の防止に御協力をお願いします。

次号は4月17日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。

 **クマを見たら…投稿しよう!** 

岩手県全域版
クマ出没情報アプリ

Bears (ベアーズ) 運用開始!

LINEで

クマ目撃場所
を投稿・通知



左記QRから、
岩手県公式LINE
を友だち登録

(注) 安全を確保してから投稿して下さい。



クマ目撃情報を共有



県公式LINEと連携

LINEで投稿！

岩手県公式LINEから簡単にクマ目撃情報を投稿できます。

必要項目を記載して、地図上にピンを立てるだけで、迅速に情報共有できます。

岩手県公式LINEを開いて、「防災・震災復興」メニューを選択



「クマを見た!」からピンを立てれば投稿完了

LINEから通知！

登録した地域でクマが出没したら、岩手県公式LINEから注意喚起通知が届きます。

周辺地域の出没情報の確認や安全確保に活用できます。

岩手県公式LINEから通知



「クマはどこ?」からマップで閲覧可

誰でもカンタン!

【発行元】

岩手県環境生活部 自然保護課野生生物担当

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL: 019-629-5371

電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけでなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

【二次元コードからも申込みできます】

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・農作物病害虫発生予察情報
- ・病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)



今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご活用ください。

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【3月分の掲載記事】

○産地・産直情報：《一関》『東北一の夏秋なす産地～一関地域のなす栽培～』

○人物紹介：《宮古》松館怜さん 地域に根ざし挑戦を続ける新規就農者

○『普及活動年報』 県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の二次元コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターFacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の二次元コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

